

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	土浦協同病院附属看護専門学校
設置者名	茨城県厚生農業協同組合連合会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
看護専門課程	看護学科	夜・ 通信	79 単位	9 単位	
		夜・ 通信			
		夜・ 通信			
		夜・ 通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「授業科目一覧」は学校事務局に備え付け閲覧及び配布する

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	土浦協同病院附属看護専門学校
設置者名	茨城県厚生農業協同組合連合会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	看護専門学校運営会議
役割	学校の運営に係る方針を決定する。 (審議事項) 教育課程の編成 学生募集方針の決定 学生の進路指導の方針決定 学校評価の審議・決定

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
厚生連理事	令和 4 年 4 月 20 日～令和 8 年 6 月 28 日	インターンシップ受け入れ病院の元事務部長
厚生連看護統轄管理部長	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日	インターンシップ受け入れ病院の元看護部長
病院副院長兼看護部長	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日	インターンシップ受け入れ病院の現看護部長
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	土浦協同病院附属看護専門学校
設置者名	茨城県厚生農業協同組合連合会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
○シラバス関係 (科目名、単位数、時間、履修年次、授業形態、ねらい、目標、講義内容、評価方法、使用テキスト)	
○シラバス作成過程及び時期 7月 教育課程(案)の内容の検討 11月 カリキュラム検討会における審議 2月 授業計画(シラバス)の決定	
○シラバスの公表時期 翌年3月	
授業計画書の公表方法	「シラバス」は学校事務局に備え付け閲覧及び配布する
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学則 (成績の評価) 第20条 授業科目の成績は、学科試験及び学習成績により評価する。 2. 授業科目の判定は、A・B・C・Dの4種の評価をもって表す。 3. 授業科目の判定は、A(80点以上)、B(70点から79点)、C(60点から69点)でA・B・Cを合格とし、その授業科目の単位取得を認定する。D(59点以下)を不合格とする。 上記学則に基づき、授業計画(シラバス)に成績評価の方法・基準を示したうえで成績評価のための試験を実施し、学業成績及び授業履修状況を勘案し学業成果を判定している。 (単位の認定) 第21条 各授業科目は履修した者に認定のうえ、所定の単位を与える。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 1. 授業科目の成績は、学科試験及び学習成績に基づき 100 点満点で評価する。 2. 履修した授業科目の点数を合計する。 3. 合計点数を履修した授業科目数で除した点数に基づき学年順位を付ける。 ※下位 4 分の 1 (30 名) に対して個別指導を実施して学力向上を図っている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	「成績指標 (学年順位の算出方法)」は学校事務局に備え付け閲覧及び配布する。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 看護は人間関係を基盤として人間の健康のあらゆる課題に対し、その人が安定した生活を送れるよう援助することである。本校は、人間の生命の尊厳人間愛を根底とし、人々の多様な価値観や行動の在り方認識し、共感的理解ができる豊かな人間性と倫理観を育成することを目指す。さらに、看護の研究のため、主体的学習を促進継続できる能力を養い、専門職業人として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる看護の実践者を育成する。 卒業の認定については、規定の単位を取得した学生に対して教員会議において審議を行い学校長へ答申を経て学校長がこれを決定する。ただし、欠席日数が出席すべき日数の 3 分の 1 を超えた学生については、卒業を認めない。(学則第 22 条 (卒業等) による)	
卒業の認定に関する方針の公表方法	「卒業の認定に関する方針」は学校事務局に備え付け閲覧及び配布する。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	土浦協同病院附属看護専門学校
設置者名	茨城県厚生農業協同組合連合会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務局に備え付け閲覧及び配布する。
収支計算書又は損益計算書	学校事務局に備え付け閲覧及び配布する。
財産目録	学校事務局に備え付け閲覧及び配布する。
事業報告書	学校事務局に備え付け閲覧及び配布する。
監事による監査報告（書）	学校事務局に備え付け閲覧及び配布する。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療分野		看護専門課程	看護学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	102 単位/3,000 時間 単位時間／単位	1,813h 単位時間 /単位	152h 単位時間 /単位	1,035h 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240 人		237 人	0 人	15 人	100 人	105 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ○シラバス関係 （科目名、単位数、時間、履修年次、授業形態、ねらい、目標、講義内容、評価方法、使用テキスト） ○シラバス作成過程及び時期 7月 教育課程（案）の内容の検討 11月 カリキュラム検討会における審議 2月 授業計画（シラバス）の決定 ○シラバスの公表時期 翌年3月
成績評価の基準・方法
（概要） （成績の評価） 1. 授業科目の成績は、学科試験及び学習成績により評価する。 2. 授業科目時間数の5分の4に達しない場合は、その科目について評価を受ける資格を失う。 （単位の認定） 1. 各授業科目を履修した者に認定のうえ、所定単位を与える。

2. 授業科目の判定は、A・B・C・Dの4種の評価をもって表す。 3. 授業科目の判定は、A（80点以上）、B（70点から79点）、C（60点から69点）でA・B・Cを合格とし、その授業科目の単位取得を認定する。D（59点以下）を不合格とする。 上記学則に基づき、授業計画（シラバス）に成績評価の方法・基準を示したうえで成績評価のための試験を実施し、学業成績及び授業履修状況を勘案し学修成果を判定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 看護は人間関係を基盤として人間の健康のあらゆる課題に対し、その人が安定した生活を送れるよう援助することである。本校は、人間の生命の尊厳人間愛を根底とし、人々の多様な価値観や行動の在り方認識し、共感的理解ができる豊かな人間性と倫理観を育成することを目指す。さらに、看護の研究のため、主体的学習を促進継続できる能力を養い、専門職業任として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる看護の実践者を育成する。 卒業の認定については、規定の単位を取得した学生に対して教員会議において審議を行い学校長へ答申を経て学校長がこれを決定する。ただし、欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えた学生については、卒業を認めない。（学則第22条（卒業等）による）
学修支援等
（概要） 茨城県厚生連奨学金制度 学生のメンタルケアのためスクールカウンセラーを配置

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56人 (100%)	1人 (1.8%)	55人 (98.2%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院（茨城県厚生連）の看護師			
（就職指導内容） 就職説明会（3年次）、病院説明会（2年次）			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家試験受験資格、保健師・助産師学校の受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
211人	4人	1.9%

(中途退学の主な理由)

- ・進路変更、体調不良のため

(中退防止・中退者支援のための取組)

- ・個別指導、学習支援、スクールカウンセリングによる相談

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	150,000 円	420,000 円	360,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ (http://www.tkkangaku.ac.jp/) で公開する。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校自ら自己評価を行うとともに、保護者会からの意見に基づき学校運営会議にて評価内容を検討・決定・結果公開を行い学校運営体制の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
厚生連理事	令和4年4月20日～ 令和8年6月28日	インターンシップ受け 入れ病院の元事務部長
厚生連看護統轄管理部長	令和7年4月1日～令 和8年3月31日	インターンシップ受け 入れ病院の元看護部長
病院副院長兼看護部長	令和7年4月1日～令 和8年3月31日	インターンシップ受け 入れ病院の現看護部長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ (http://www.tkkangaku.ac.jp)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ (http://www.tkkangaku.ac.jp)
--